

■ ■ エムズリゾートアシベツ初イベント、多くの人で賑わい

2月20日、エムズリゾート アシベツ M's Resort Ashibetsu (国設芦別スキー場) にて、スキー・スノーボードのデュアルスラロームイベント「ハイソックス Highsox vol.1」が開催され、市内外から集まった多くの人々が音楽や露店などを楽しみました。

デュアルスラロームは、旗門コースを滑るアルペン競技で、同じコー

スを左右に並べ、同時に2人が滑走してタイムを競う勝ち上がり形式のトーナメントです。

当日は時折強い雪が降る中、各地から集まった150人の出場者が各部門に分かれ、ジャンプ台など障害物が配置されるコースを駆け抜け、観客からの声援にっていました。



■ ■ 芦高生が芦別市地方創生塾の活動報告を行いました



2月22日に市役所3階第1会議室で芦別高校の生徒5人が芦別市地方創生塾の活動報告を行いました。

地域と関わることで、地元への思いを高め、地域の担い手となる人材を育てることを目的としています。

令和2年度から2年間にわたり、新村充・大倉加奈両塾長と共に、グ

ープワークや校外活動を実施してきました。

活動では、芦別のお土産ベスト5の調査や「高校生カフェ（高校生が放課後に立ち寄れる場所や世代間交流ができる場所づくり）」を企画し実現に向けての検討をしているとのこと。

■ ■ 寄付をいただき、健康推進車を導入しました

市は、約20年が経過し老朽化した指定供用車を、新たに「健康推進車」として車両を購入し、2月24日にお披露目しました。

これは、明治安田生命保険相互会社から新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする健康づくり事業に活用してもらいたいと、令和2年及

び3年に計131万8,700円の寄付をうけて、車両を導入したものです。

車両は、4輪駆動の軽自動車で保健師や管理栄養士が、健康推進に係る保健指導や相談業務などで戸別訪問の際に使用されます。

また、災害時や緊急の広報のために、放送設備も整備しています。



■ ■ 消防職員意見発表大会予選会で最優秀賞受賞



3月7日、第48回全道消防職員意見発表大会道央地区予選会で最優秀賞を受賞した、芦別消防署田野康平消防士(24)への伝達式と激励会が芦別消防署で行われ、全道大会での躍進へ向け激励を受けました。

この大会は、消防業務に関する知識の研さんや意識の高揚を目的とし

て、消防職員が業務に対する提言や課題などについて自由に発表を行うもので、全国消防長会の主催により毎年開催されています。

発表のテーマは「それ、誰も悲しまないですか?」。消防活動での体験から、SNSでの誹謗中傷に関して、モラルに問いかける内容です。